

平成 24 年 11 月 2 日

## 年金記録問題についてのこれまでの取組状況 (主要データ)

### 1. 年金記録の回復状況

#### (1) ねんきん特別便により年金記録が回復された方(平成 24 年 9 月)

延べ	930万人
受給者	240万人
加入者	690万人

#### (2) 記録が見つかり年金額の増えた方(平成 20 年 5 月～24 年 9 月)

少なくとも 延べ 199 万人(生涯額 1.7 兆円)

#### (3) 約 5,000 万件の未統合記録のうち基礎年金番号に統合済みの記録 (平成 24 年 9 月)

	1,671万件
※最近 1 ヶ月で記録が回復した件数	7万件

### 2. 記録回復後の年金を受給できるまでの期間

#### ・過去 5 年分までの支払い

7.2 ヶ月(21 年 3 月) → 2.6 ヶ月(24 年 9 月)

#### ・時効特例分(5 年超)を含む全体

10.0 ヶ月(21 年 3 月) → 4.2 ヶ月(24 年 9 月)

### 3. 年金事務所段階での記録回復基準の策定状況

(平成 21 年 12 月)	3 種類(国年、厚年、脱退手当金)
(平成 22 年 4 月)	1 種類(脱退手当金)
(平成 23 年 10 月)	2 種類(国年、厚年)

#### 4. 紙台帳とコンピュータ記録との突合せ

##### (1) 国民年金特殊台帳(3,096万件)とコンピュータ記録との突合せ結果 (平成24年9月)

○約3,096万件のうちコンピュータ記録と一致しない記録 約30万件  
(注)国年特殊台帳等の記録の約1%

うちご本人にお知らせすることが可能なもの 約16.8万件(100%)

- ・うちお知らせ送付済のもの 約15.4万件(92%)
  - うち年金が増額となるためお知らせを送付した受給者のもの 約7.9万件
  - うち再裁定の進達まで至っているもの 約7.0万件
- ・うち本人にお知らせする前に補正が完了していたもの 約1.3万件(8%)

##### ・年金受給者の年金額の増額の状況(年額)

平均額 : 約 1.4万円  
最高額 : 約38.2万円  
最低額 : 546円

・費用対効果 所要経費 計:約106億円  
年金額が増額となる効果(生涯額) 計:約380億円

##### (2) 紙台帳とコンピュータ記録の突合せの対象件数(平成22年7月)

・紙台帳収載件数 約9.5億件  
うち、重複分等を除いた件数 約7.2億件  
※現時点で、ご本人のコンピュータ記録に結びついた件数 約6.0億件